

先生各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査内容の変更をさせていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■変更項目および変更内容

■実施日 2022年 5月 2日（月）ご依頼分より

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考	
123	9468 5F190	単純ヘルペスウイルス DNA定量	材料追加	髄液			
			必要量	髄液 0.7mL			
			容器	90(滅菌容器)			
			保存	凍結			
			基準値	1.0×10 ² 未満 コピー/mL			
125	9404 5F193	水痘・帯状疱疹 ウイルスDNA定性	2 項目 共通	容器	患部ぬぐい液 90 (滅菌 容器)	患部ぬぐい液 59 (ウイルスDNA検査用容器) (SDS EDTA-2Na入り)	委託先 による 変更の ため
				保存	患部ぬぐい液 凍結	患部ぬぐい液 室温	
				備考	患部ぬぐい液：患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツに入れ、そのまま凍結保存してください。	(コメント追加)	
125	9417 5F194	サイトメガロウイルス DNA定性	2 項目 共通	容器	結膜ぬぐい液 90 (滅菌容器)	結膜ぬぐい液 59 (ウイルスDNA検査用容器) (SDS EDTA-2Na入り)	委託先 による 変更の ため
				保存	結膜ぬぐい液 凍結	結膜ぬぐい液 室温	
				備考	結膜ぬぐい液：患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツに入れ、そのまま凍結保存してください。	(コメント追加)	
125	9420 5F150	アデノウイルスDNA定性	2 項目 共通	容器	結膜ぬぐい液 90 (滅菌容器)	結膜ぬぐい液 59 (ウイルスDNA検査用容器) (SDS EDTA-2Na入り)	委託先 による 変更の ため
				保存	結膜ぬぐい液 凍結	結膜ぬぐい液 室温	
				備考	結膜ぬぐい液：患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツに入れ、そのまま凍結保存してください。	(コメント追加)	

裏面もご確認下さい。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。

■変更項目および変更内容

■実施日 2022年 5月 7日 (土) ご依頼分より

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
130		RAS-BRAF遺伝子 変異解析	検査材料	未染スライド 5枚 (5 μ m厚) 又は (*1) 組織 30mg(3mm角) (*2)	未染スライド 5枚 (5~10 μ m厚) 又は パラフィン切片 5枚 (5~10 μ m厚)	委託先 による 変更の ため
			(*3) 【未染スライドご提出時の留意事項】 ・病理組織診断にて腫瘍が認められた部位をマーク(実線で 囲む)したHE染色スライドを併せてご提出ください。 【ホルマリン固定検体の取り扱いについて】 ・ホルマリン固定検体では、固定条件によって核酸の断片 化が著しく、解析不能となる場合があります。検体の取り扱い については、日本病理学会「ゲノム診療用病理組織検体取扱 い規程」および日本臨床腫瘍学会「大腸がん診療における遺 伝子関連検査等のガイダンス」をご参照ください。			
未掲載		EGFR遺伝子変異解析 コバスv2 (*4)	検査材料	未染スライド 5枚 (5 μ m厚) (*1)	未染スライド 4~5枚 (5 μ m厚) 又は パラフィン切片 4~5枚 (5 μ m厚)	
			(*3) 【ホルマリン固定検体の取り扱いについて】 ・ホルマリン固定検体では、固定条件によって核酸の断片 化が著しく、解析不能となる場合があります。検体の取り扱い については、日本肺癌学会「各種検査の手引き」および日本 病理学会「ゲノム診療用病理組織検体取り扱い規程」をご参照 ください。			

(*1) 対象材料からパラフィン切片を削除いたします。

(*2) 対象材料に組織を追加いたします。

(*3) 検体提出方法、ホルマリン固定検体の取り扱いについて改定いたします。

(*4) 2022年3月Topics of medic No. 2022-15にてご案内しております検査項目です。